

七 東支鉄道管理問題	五〇四
八 関東大震災関係	五四九
1 各国ノ救恤関係	五四九
2 中国人等被害関係	六二六
3 レーニン号問題	六七五

附録 日本外交文書大正十二年第一冊日附索引

事項一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題

1 移民制限法案関係

一 一月三十日 在桑港矢田總領事ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ジョンソンハ移民制限法案ヲ撤回シ次期議會

ニ提出スル意向ナル件

第三四号

（一月三十一日接受）

往電第一四号ニ関シ

一月三十日「ガイ」ノ追報スル所ニ依レバ第十一回日本人問題懇談会ニ於テ「マクラッチー」ハ「アルバート・ジョンソン」ヨリ同人ノ移民法案ハ条文ノ立案宜シキヲ得ズンテ不明瞭ノ点アルト且ツ一般ノ気受ケ宜シカラザルタメ通過ノ見込ナキニヨリ不日之ヲ撤回シ次回議會ニ提出スル考ナル旨ノ書簡ニ接シタル由語レル趣ナリ

在米大使へ電報セリ

二 二月二日

在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

下院移民委員会内部ニ於ケル種々ノ移民制限

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 一二

立法案ノ形勢ニ関スル情報報告ノ件

第六八号

（二月四日接受）

桑港總領事宛往電第四号ニ関シ

下院移民委員会内部ノ形勢ニ付委員長「ジョンソン」ト会见シタル当館諜報者ノ内報左ノ通

委員会内部ノ意見未ダ一致ヲ見ザルニ本會議ハ月余ニ閉会トナラムトスルニ到レル為「レーカー」「ペール」「フリッツ」「ボックス」等ノ制限論者ハ西部南部地方選出議員ニ与ヘタル口約ノ行懸リモアリ稍々焦躁ノ気味ニテ最近提出セラレタル「ペール」案（一月二十一日公第四四号郵報）ニ後援ヲ与ヘ時宜ニ依リテハ該案ニ修正ヲ加ヘテ急速本會議ニ報告セムト極力努メ（脱）語レリ同案ノ要點ハ移民ヲA B 兩級ニ區別シB級移民ニ対シ一九一〇年國勢調査ニ依ル在米各國移民數ノ二「パーセント」ニ六百ヲ加ヘタル「クォータ」ニ依ル制限ヲ設ケ渡米移民ニ対スル領事証明權ノ制度ヲ定メ領事ハ帰化權有ル外國人ニ対シテノミ該証明書ヲ發給スベシトナシ帰化權ナキ一切ノB級移民ハ米國入國ヲ

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 二

許サザルノ規定ヲ設ケ居ルモ同案冒頭ニ於テ本案ニ所謂移民中ニハ移民ニ関シ特ニ条約又ハ協定ノ定メアル國ヨリ來ルベキ外國人ヲ含マズト定メ居ルナリ然ルニ「ジョンソン」始メ有力ナル委員ハ本日更ニ制限的法規ヲ制定スルハ其時機ニアラズトスル意見ニ傾キ同案ニ反對シ居ル処同案ハ他ノ制限案ト異リ反對側ノ意見ヲモ採用スルニ努メタル妥協的案ナリト稱セラレ居ルノミナラズ制限論者ノ運動盛ナル為更ニ討議ヲ重ネタル結果委員會内部ニ於テ一月三十一日「テンタチブ、ドラフト」トシテ一案ヲ形成セルガ其中注目スベキハ左ノ通

第一、移民トハ米國外ヨリ米國內ニ來ルベキ一切ノ外國人ヲ指ス但シ(イ)官吏其ノ家族及從者(ロ)旅行者又ハ商用若ハ遊覽ノ為一時滞在スル者(ハ)米國內ヲ通過スル者(ニ)一旦適法ニ入國ヲ許サレタル後米國ニ近接スル外國ヲ經由シ米國ノ一地方ヨリ他地方ニ赴ク者ヲ除外ス

第二、移民ヲ「クォータ、イミグランツ」及「ノンクォータ、イミグランツ」ニ區別シ前者ニ對シテハ一八九〇年國勢調査ノ結果定メラレタル各國人數ノ二「パーセント」ニ四百ヲ加ヘタル「クォータ」ニ限り入國ヲ許可ス

意ヲ迎フルト共ニ前記排斥條項ヲ挿入セルモノト認メラル尚國務省係官ニ議會内部ノ模様ヲ尋ネタルニ今期議會中ニハ移民ニ關スル法案ノ成立ヲ見ルガ如キコトナカルベキ模様ニ認メラル旨答ヘ居レリ
桑港ヘ転電シ「ポートランド」、「シアトル」、「ホノルル」、「ロス・アンゼルス」ヘ暗号ノ儘郵送セリ

註 日本外交書大正十一年第一冊三文書(二頁)

三 二月九日 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

下院委員會ヘ提出ノ新移民制限法案ガ今議會
ニ於テ通過スルヤ否ヤニ關シ下院移民委員長
ジョンソン予測ノ件

第七八号

(二月十二日接受)

二月六日東部諸新聞ハ日本移民ノ排斥及歐洲移民數ノ削減ヲ規定セル新移民制限法制定ニ關スル提案ハ五日日下院委員會ノ承認ヲ經タルガ委員會ハ一兩日中ニ同案ヲ完成シ速ニ今議會ニ報告セムトノ計畫ヲ定メ居レリトテ同案内容(既報 tentative draft 同シ)ヲ報道シ居レリ

右ニ關シ委員長「ジョンソン」ハ前記排斥條項制定ノ目的

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 三

二

第三、移民ハ前記種別ノ何レニ屬スヲ問ハズ在外領事ヨリ移民証明書ヲ發給ヲ受クルコトヲ要ス

第四、歸化權ナキ移民ハ入國ヲ許サズ但シ(イ)再渡航者(ロ)宗教家大学教授又ハ學術的職業者及之等ノ妻子(ハ)學生ハ此限ニアラズ

歸化權ナキ外國人ハ永久ニ米國在住ヲ許サズト定メ居ルニアリ而シテ全然試案タルニ過ギズシテ委員會中ノ異論尠カラズ今後引續キ討議ヲ重ネタル上或ハ更ニ修正ヲ加ヘラレテ何人カノ名ニテ正式ニ提出セラルルヤモ計リ難キモ委員長「ジョンソン」ハ最近病氣引籠ニシテ討議ノ進捗渺々シカラズ從ヒテ移民ニ關スル法案ガ何等カノ体裁ノ下ニ本會議ニ報告サルル迄ニハ尚幾多ノ曲折ヲ經ザル可カラザルベク「ジョンソン」氏ノ觀測ニ依ルモ同案ガ三月初旬迄ニ下院ヲ通過スベキ見込甚ダ渺シ云々

前記試案ナルモノハ「ベール」ノ特色タル條約又ハ協定アル國ヨリノ移民除外ノ一項ヲ除キ更ニ歸化權ナキ外國人ヲ排斥セントスル「ジョンソン」案(往電第四三五号)ヲ加味セルモノニシテ移民制限ニ關シ「クォータ」ノ基礎ヲ一八九〇年ノ國勢調査ニ移シ(不明)移民ニ同情アル委員ノ

ハ過般ノ大審院判決ニ從ヒ紳士協約ノ條項ヲ單ニ法律ノ形式ニ遵守セシムルニ在ルノミ若シ同協約ガ過去ニ於テ忠実に遵守セラレ來リシトセバ國務省及日本政府ト雖モ右案ニ對シ抗議スルノ理由無カル可シ且又排斥法案ハ過去數ヶ月ノ長キ委員會ニ於テ審議中ナリシニ拘ラズ國務省ヨリ何等反對ノ声ヲ聞カザリシナリト弁明シ「タイムズ」「トリビュン」「レッヂャー」華盛頓「タイムズ」又同案ノ運命ニ關シテハ「ジョンソン」ハ同案ハ今議會ニ於テ通過成立ノ見込ミ殆ド無カルベシ「トリビュン」尤モ前記法案ハ下院ニ於テ「アルメニア」避難民入國許可案(二月五日上院ヲ通過シ下院ニ送付セラレタルモノニシテ二万五千ノ「アルメニア」人入國許可ヲ定メ居ル「キノス」案及「ウィリアムス」案ヲ連合セルモノナリ)ニ代ル可キモノトシテ採決シ得可ク此手段ニ依ルヲ得バ同法案ハ兩院協議案報告ナル形式ノ下ニ上院ニ送付シ得可ク今期議會中ニ何等最終的決定ヲ見ルニ至ル可キ相当ノ機會有ル可シト雖モ若シ留保ノ法案ト上院ニ送付セラレム乎多數ノ法案輻輳セル今日三月四日迄ニ議事日程ニ上ルノ機會無カル可シ「レッヂャー」ト觀測シ居レル趣ナリ

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 四 五

桑港へ転電沿岸各領事「ホノルル」へ郵報セシム

四 二月九日 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

排日法ヲ制定スルヨリモ紳士協約ノ改訂ニ依ル方公平且友誼的ナリトノタイムズ論說報告ノ件

第八一號

(二月十二日接受)

一、「タイムズ」論說ハ埴原大使カ紳士協約ノ現状ニ満足スト謂ヘルト日ヲ同シクシテ下院移民委員会ハ排日法案ノ制定ヲ承認セリトテ日本カ一九〇七年ノ協定ヲ遵守シツアル間ニ排日法ヲ制定スルカ如キハ一等国ノ待遇ヲ要求スル人民ニ對スル重大ナル侮辱ナリト謂ヘル「カンサス」大學教授 Mills ノ言ヲ引用シ更ニ加州人ト雖モ日本政府カ善意ヲ以テ紳士協約ノ実行ニ努メ来レルコトヲ容認スヘシ日本人ヲ支那人若ハ下層ノ印度人ト同一視シ日本ノ善意ヲ疑フ如キ排斥法ヲ制定スルヨリモ紳士協約ノ改訂ニ依リ其ノ安全ヲ増ス方日本ニ對シ遙ニ公平ニシテ友誼的ナリト論ス

註 一九一三年二月七日付

五 二月九日 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

移民制限ニ關スル下院移民委員会試案ニ對スル各紙論調報告ノ件

第八七號

(二月十三日接受)

移民制限ニ關スル委員会試案ニ對シ今日迄ニ社説ヲ掲ゲ何等批判ヲ加ヘ居ルモノハ往電第八一號「タイムズ」ノ外「ワールド」、「ヘラルド」(七日)及「イブニング・ポスト」(八日)等ナリ就中日本人排斥條項ニ對シテハ「ワールド」ハ該條項ハ已ニ紳士協約ノ定ムル所ヲ規定セントスルモノニシテ國務省ノ反對ヲ受クルヤモ知レズト一言シ「イブニング・ポスト」ハ該條項編入ノ理由トシテ「ジョンソン」ハ紳士協約ヲ法律ニ書替ヘントスルモノニ外ナラズト説明シ居ルモ同協約ハ日本ノ体面ヲ損ズルヲ避ケンガ為採用セラレタル手段トシテ且同協約ハ從來実効ヲ奏シ来タレル事實ニ顧ミ協約ヲ法律ニ書替フルハ排斥的政策ヲ声明スル外日本ガ紳士協約ヲ遵守シ来ラザリシコトヲ意味スベク二重ニ日本ノ感情ヲ害スルコトナルベシ假令下院委員会ガ國務省ノ立場ヲ苦シメントスルニ在リトスルモ該條項制定ノ

理由那邊ニ存スルヤ了解シ難ク何レノ方面ヨリスルモ兇戲ニ類スルモノト云フベシト論ジ居レリ然ルニ既報「タイムズ」ヲ除クノ外以上諸新聞ハ主トシテ論点ヲ欧州移民「クオート」削減ノ問題ニ置キ何レモ同案ニ於テ「クオート」ヲ削減セルハ制限ノ度現行法ヨリ大ナリト雖モ已ニ米國ニ在住スルモノノ家族親戚ヲ「クオート」ノ外ニ措キ現行法ニ比シ寛大ナル規定ヲ定メ居ル点ヲ賞揚シ就中「ワールド」ハ移民制限ニ關スル國民ノ決意ハ已ニ疑ノ余地ナシ下層労働者ノ無制限入國ヲ欲スル「ビッグ、ビジネス」ノ利己的態度ニ比シ「ジョンソン」案ハ政治家的ニシテ真面目ナリト述べ居レルガ「ポスト」ハ本案ヲ「アルメニア」避難民入國許可案ト結付ケントスルハ折角望マシキ法案ノ成立ヲ危険ナラシムルモノニシテ不合理ナル手段ナリ若シ下院ニシテ斯ル試案ヲ採ルニ至ラバ協議會ハ須ラク同案ヲ抹殺スベキナリト論ジ居レリ

新移民制限法案ハ些少ノ修正ヲ加ヘラレ下院移民委員会ヨリ本會議ニ報告セラレタル件 (二月十日接受)

第八八號

往電第七九號ニ關シ謀報者ノ報告ニ依レバ本案ハ些少ノ修正ヲ加ヘラレ九日午後本會議ニ報告セラレタリ多分來週初頃討議セラルヘシトノ趣ナリ

桑港へ転電シポートランド、シアトル、ホノルル、ロサンゼルスへ郵報セリ

七 二月十日 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

新移民制限法案ノ下院ニ於ケル討議ハ來週以降トナルベキ模様報告ノ件

第九三號

(二月十一日接受)

往電第八八號ニ關シ

二月十日謀報者ヨリ更ニ内報スル所ニ依レバ既報試案ニ些少ノ修正ヲ加ヘ委員会ノ意見ヲ纏メタル後二月九日委員長「ジョンソン」ノ名ニ於テ一旦下院ニ提出シ直ニ委員會ニ回付シ同委員會ハ之ヲ本會議ニ報告スルコトニ決定セルモノニシテ本案報告書ハ未ダ出來上ラザルモ多分「ジョンソン

六 二月九日 在米國佐分利臨時代理大使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 六 七

桑港ニ転電シ沿岸各領事「ホノルル」ヲ含ムヘ郵送セシム

ン」ノ手ニテ起草セラル可シ(同往電ニ於テ委員会ヨリ報告済トセルハ正確ナラズ)而シテ之ト同時ニ委員長ハ本案ヲ下院共和党領袖「モンデル」等ニ送り内諾ヲ求メ居レルガ「モンデル」ハ始メテ同案ヲ手ニセルコトトテ研究ノタメ相当時間ヲ費ス可ク下院ノ討議ニ上ルハ目下ノ所來週以後トナル可キ模様ナリトノ趣ナリ

尚前記「ジョンソン」案ノ内容ハ往電第六八号ノ原案ト大差ナキモ注意スベキハ第一移民ノ定義中ニ但書中(善意ノ船員ニシテ職務ノ為米國ニ上陸スル者ヲ追加シ第四帰化権ナキ外国人ニ対スル永住禁止事項ヲ削除シ居ル点ナリ本電桑港總領事ヘ転電シ「ホノルル」及沿岸各領事ニ郵送セシム

八 二月十日

在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

新移民制限法案ニ対スル國務省ノ措置振ニ関スル國務省保官ノ内話報告ノ件

第九四号

(二月十一日接受)

往電第八八号ニ関シ

二月十日國務省保官ノ注意ヲ喚起シタルニ其節同官ノ内話

固有ノ權利ニシテ國務省ハ右固有ノ權利ニ干渉シ又ハ干渉スル外國ヨリノ申出ヲ承認スルコトナカルヘク議會亦右ノ權利ヲ些少ナリトモ危殆ナラシムルカ如キ法律ヲ制定スルコトナカルヘシ我条約締結機關ハ國民ヨリ其ノ團結快樂又ハ安息ヲ保護スヘキ權利ヲ剝奪スルカ如キ条約又ハ協約ヲ締結スルコトナカルヘシ而シテ合衆國大審院ハ既ニ東洋人ハ米國ニ於テ帰化権ヲ享有セサルコトヲ決定セルヲ以テ移民委員會ニ於テハ單ナル覺書ナリト諒解セラルルニ拘ラス日米通商条約付屬書ニ依リテ從來數年間或種ノ効力ヲ有シ來レル所謂紳士協約ヲ訂正スルノ規定ヲ提議スルハ妥當ノ措置ト思惟ス云々ト記シ

一、次ニ紳士協約ノ本質ヲ明カニスルノ要アリトテ Report of the commission general of immigration for 1908 p. 123 記載ノ該協約成立ノ由來ヲ転載シ尚一昨年ノ移民委員會 hearing ノ際ニ於ケル國務省極東部長トノ問答中該協約ハ彼我交換ノ書翰中ニ embody サレタルモノニシテ夫レ自身覺書又ハ文書ノ形ヲナスモノニアラストノ説明アルコト等ヲ指摘シ更ニ入國制限ト条約トノ關係ヲ担当研究シタル氏ノ報告ノ一部及 Roosevelt 自叙傳 p. 414 ノ一節

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 一〇

スル所ニ依レバ國務省ニテハ下院委員會ガ從來ノ例ヲ破リ今日迄何等國務省ノ意見ヲ求メ來ラザルノミナラズ「ジョンソン」自身新聞記者ニ対シ國務省ヨリ何等意見ヲ申出ザルハ單ニ紳士協約ヲ其儘法律ニスルガ為ナルベシナド言ヘル旨伝ヘラレタルニ一驚ヲ喫シタルモノノ如ク國務長官ハ本邦關係ノ事項ニ関シ何等カ其採ル可キ措置ニ関シ目下折角考量中ニテ既ニ九日ノ閣議ニ於テモ本件ヲ議シタル模様ナリ尤モ國務省保官ハ今尚本件法案ガ本議會ヲ通過スルガ如キコトナカル可シトノ感想ヲ懷キ居ルモノノ如シ「ホノルル」沿岸各領事ヘ転電シ其他在米各領事ヘ郵送セリ

九 二月十七日

在米國佐分利臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ジョンソン提出ノ移民法案報告書中本邦移民ニ関スル部分ノ大要報告ノ件

第一〇九号

(二月十八日接受)

二月十五日「ジョンソン」ノ提出セル移民法案ニ関スル報告書ノ内本邦移民ニ関スル部分ノ大要

一、先ツ一億一千万ノ人民並其ノ子孫ヲ保護スルハ米國民

等ヲ引用シ居レルカ最後ニ委員會案トシテ帰化不能外國人ノ入國禁止ニ対シ(一)再渡航者(二)教師、僧侶、學者及其ノ妻子(三)學生ノ場合ニ例外ヲ設ケタルハ委員會トシテ此例外ハ所謂紳士協約ヲ明カニシタルモノニシテ該協約ヲ法律トナスコトニ依リ初メテ最困難ナル問題ヲ容易ニ終結セシムルヲ得ヘシト信シタルハナリト結ヘリ

三、本報告ニハ少數意見併記セラレアル処右ニ依レハ委員會ニ於ケル少數意見ハ單ニ「パーセンテージ」上二分ニ減シタルト標準年度ヲ一八九〇年ノ census ト為セルコトニ對スル反對ニシテ何等本邦人排斥事項ニ触レ居ラス本電桑港ニ転電シ「ホノルル」及沿岸各領事ヘ転電セシム

一〇 二月十九日

在米國植原大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

今議會中ニ新移民法案成立ノ見込殆トナカルベキ旨ノ諜報報告ノ件

第一一二号

(二月二十一日接受)

(下院議事日程ニ移民法案包含セシム)
往電第一一二号ニ関シ二月十九日諜報者ノ内報ニ依レハ下院委員長「ジョンソン」ハ委員並西部南部議員ノ後押ニ依リ本案ヲ速ニ議事日程ニ上サムト欲シ十九日更ニ特別日程

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 一一

ヲ定メムコトヲ要求シ同時ニ下院領袖ニ對シテモ右要求援助方奔走中ナル処議事委員會ハ「ジョンソン」ノ要求ニ背セス又下院領袖ハ上院領袖及移民委員會ノ有力議員ニ本案ニ對スル意向ヲ問合中ナリト又上院ニ於テハ目下尚諸議案輻輳シ居リ到底本案ヲ討議通過スルノ時日ト余裕ナキ模様ナルノミナラス上院移民委員長「コルト」ハ上院（脱）タル「アルメニア」人入國許可案ノ成立ヲ希望シ本案ニ反對スルノ意ヲ洩ラシ前委員長「ジリンガム」モ本案ニ反對シ上院ニ於テ其通過ヲ企図スルハ徒勞ニ終ルヘシトノ觀測ヲ下シ居レリ換言セハ過去數日間ハ何等形勢ノ變化ナク現下ノ狀勢ヨリ察スルニ仮ニ二十六日ニ始マル週間ニ下院ノ議事ニ上程セラルルニ至ルトスルモ今期議會中ニ本案成立ノ望殆トナカルヘシトノ趣ナリ

桑港ニ転電シ「ホノルル」及沿岸各領事ニ郵送セシム紐育市俄古「ニューオルレアンス」「オタワ」ニ郵送セリ

一一 二月二十二日 在米國植原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

下院移民委員長ジョンソンハ本期議會ニ於ケル移民法案ノ成立ヲ断念シタル趣謀報告ノ件

一二 三月五日 在米國植原大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

ジョンソンノ委員會設置計畫ノ意図ニ関シ謀報者ノ内報報告ノ件

第一五三三號 （三月六日接受）

移民ニ関スル諸懸案ハ既報ノ儘ニテ議會終了トナレル処謀報者ノ内報ニ依レハ往電第一二五五委員會設置計畫云々ノ件ハ往電第一三三三號布哇労働調査委員會ヲ意味シタルモノノ如ク其後他ニ何等類似ノ企画ヲ為セルヲ聞カス尚右設置決議案モ「モンデル」等ノ反對ヨリ不成立ニ終リタルガ「ジョンソン」ノ同案提出ノ内容ハ一方「ジリンガム、ツラニヤオル」案ニ反對スルト共ニ一方該委員會ヲ利用シ（不明）ノ結束ヲ固クシ委員長タル自己ノ地位ヲ（脱）漸次布哇移民ノミナラス一般移民問題ニ関スル同人今後ノ活動ヲ基礎付ケントスルモノト察セラルル趣ナリ

在米各領事、オタワ、晚香坡へ暗送セリ

一三 十二月九日 在米國植原大使ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

ジョンソン及ピロツジ移民制限法案ヲ下院及

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 一二 一三 一四

件

第一二五五號 （二月二十三日接受）

往電第一二二二號ニ関シ謀報者ノ内報ニ依レハ「ジョンソン」ハ各方面ノ趨勢ニ顧ミ本期議會ニ於ケル本案成立ノ希望ヲ断念シ其代リニ西部ノ懲遷ニ依リ本年夏頃一般移民問題調査ノ為一委員會設置ノ計畫ヲ為シツツアル趣ニテ未ダ該委員會ノ内容等ニ付具体的事實ヲ知ルニ由ナキモ此手段ニ依リ徐ニ陣勢ヲ整ヘ來議會ニ於テ捲土重来ヲ画策シ居ルモノト察セラル尚上院委員會ニ於テハ下院ノ新法案ヲ考慮スルノ意志ナキモノノ如ク二月十八日ヨリ右下院案トハ反對ノ趣旨ニ依リ立案セラレタル現行「パーセンテージ」修正「コルト」案（本年一月十七日公第二三三號報告）ニ對スル「ヒアリング」ヲ開始シ目下「ナショナル・アッソシエーション・オブ・マニファクチュアズ」「アッソシエーテッド・ゼネラル・コントラクターズ」等主トシテ企業者側ノ意見ヲ徴シ居レリ

桑港ニ転電「ホノルル」ヲ含ム沿岸へ郵送セシメ「ニューオルレアンス」及紐育、市俄古、「オタワ」へ転電セリ

ピ上院ニ夫々提出ノ件

第八一〇號 （十二月十二日接受）

「ワシントン」州選出下院議員「アルバート・ジョンソン」ハ十二月五日移民制限法案ヲ下院ニ提出シ直ニ同院移民並帰化委員會付託トナレリ右法案ノ内容ハ前議會ニ於テ同人ノ提出シタル法案即チ本年二月十六日付公第百十三號往信付屬ノ所謂移民委員會案ニ多少ノ修正ヲ加ヘタルモノナルガ本邦人關係即チ帰化不能人ノ入國ニ関スル部分ニ就キテハ重要ノ修正ナシ尚上院議員「ロツジ」モ別ニ移民制限ニ関シ前記「ジョンソン」案ト全然同一ノ内容ヲ有スル法案ヲ十二月六日上院ニ提出シ直ニ移民委員會付託ト成リタリ詳細ハ追電スベシ

桑港總領事ニ転電シ更ニ「ホノルル」ヲ含ム沿岸各領事ニ転電セシム

一四 十二月十一日 在米國植原大使ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

米國議會ニ提出ノ移民制限法案ノ内容ニ付報告ノ件

第八一四號 （十二月十三日接受）

往電第八一〇号ニ関シ

本件移民制限法案ハ前回ノ議案(本年二月十六日付往信公第一一三号付属書)ニ多少ノ加除ヲ行ヒタルモノニシテ主要ノ条項ニハ殆ト變更ナシ我方ニ直接關係アル修正ハ移民トシテ入國ヲ許可セラルル帰化不能国籍人ノ種別ニ關スル旧法案第四条中(一)再渡航ハ(c)項ノ外国滞在期間ヲ一年以内ト限定シ尚特ニ延期ヲ許スコトアルヘキ期間(旧法案第九条c項)ヲ六ヶ月以内ト限定シ其履行及滞在期間延長願手数料(第九条d項)ヲ各六弗ニ引上ケタルコト(二)宗教教師等(第四条七項)カ入國願出前其職業ニ從事シ居リタルコトヲ要シタル年数ヲ延長シテ四年トセルコト(三)学生(h項)ノ年齢ヲ高メテ十八歳以上トシ尚米國ニテ入學スヘキ学校ヲ college, academy, seminary, university ト明記セルコト(四)尚旧法案第一九条b項ノ次ニ一項ヲ加ヘ米國ニ入港スル船舶ノ船員中帰化不能国籍人アルトキハ出港ニ際シ艀クモ入港當時乗組ミ居リタルト同数ノ帰化不能国籍船員ヲ有スルニアラサレハ該船舶ノ出港ヲ許可セス右ニ違反シテ出港シ若クハ出港ヲ企ツルトキハ船主船長其他ニ對シ不足船員數ニ応シ三千弗乃至一万弗ノ罰金ヲ科スルコトニ定

一五 十二月十二日

在米國植原大使ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

米國出生外國人兒童ノ帰化權制限ニ關スル

憲法改正決議案上下兩院ニ提出サレタル件

第八一九号

(十二月十四日接受)

十二月六日上院本會議ニ於テ華盛頓州選出議員「ジョンズ」ハ米國出生外國人兒童ノ帰化權制限ニ關スル左記趣旨ノ憲法改正決議案 (concurrent resolution) ヲ提出シ直ニ同院法制委員會ニ付託セラレタリ
「上院ハ(下院ノ賛成決議ヲ俟チ)憲法改正案トシテ左記条項ヲ各州ニ提議シ該条項カ四分ノ三以上ノ諸州議會ニ依リ批准セラレタル時ハ憲法ノ一部トシテ完全ニ効力ヲ生スヘキモノナルコトヲ決議ス

憲法補則第十九条

米國內ニ於テ外國人タル親ヨリ今後生レタル子ハ其兩親カ共ニ帰化權ヲ有スルニ非サレハ米國国籍若ハ帰化權ヲ有セス又從來米國內ニ於テ生レタル者ハ其兩親カ共ニ米國国籍又ハ帰化權ヲ有シタルニ非サレハ本条項採用後米國国籍若ハ帰化權ヲ有セス」

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 一五 一六

メタルコト等ナリ(五)尚旧法案第二十六條全部ヲ削除シアリ其他ノ修正ハ帰化不能国籍人從ッテ邦人ニハ直接關係ナキモ其内最主要ノ点ハ(一)前回ノ法案第四條ニ列挙スル各種 non-quota immigrant ノ内同條(b)項ニ屬スル移民ヲ今回ノ案ニテハ quota immigrants ノ部類ニ編入シ之ニ quota relative immigrants ト云フ名称ヲ与ヘ此種移民ニ對シ發給スル immigration certificate ノ數ハ該移民ノ屬スル國ニ對シ割當テタル「クォータ」數ヲ超ユヘカラサルコト其他ヲ規定シ從ッテ右修正ニ照合セシムル為關係諸條項ニ必要ノ加除ヲ行ヒタル点ニアリ(二)其他ニテハ旧案ニテハ「クォータ」ハ二パーセントプラス四百人(第十條a項)トシタルヲ半減シテ二百人トシ(三)各種ノ手数料罰金等ヲ引上ケ(四)旧案第二十九條及第三十條ヲ削除シ(五)「イミグレーション、サーチフィケート」發行數ニ關スル手續要件等ヲ多少便ニシ移民法違反ニ對スル処置ヲ付加シタリ

註 旧法案第二十六條ハ Admission of temporarily admitted aliens ニ關スルモノナリ旧案第二十九條ハ千九百二十一年五月十九日認可ノ移民制限法ノ失効ニ關スルモノナリ
旧案第三十條ハ Admission of relatives under 1921 Act ニ關スルモノナリ

尚十二月五日下午院ニ於テモ加州選出議員 Raker 及華盛頓州選出議員「ジョンソン」ヨリ各別ニ前頭同趣旨ノ憲法改正決議案 (Joint resolution) ヲ提出シ何レモ同院法制委員會ニ付託セラレタリ此ノ二決議案モ上院ノ「ジョンズ」案ト同様四分ノ三以上ノ多數諸州議會カ批准セハ其儘完全ニ効力ヲ生スヘキモノナルコトヲ前文ニ掲ケ而シテ Raker 案ニハ「米國內ニ於テ外國人タル親ヨリ今後生レタル子ハ其兩親カ共ニ帰化權ヲ有スルニ非サレハ云々」トノ規定アルノミニテ從前生レタル者ニ關シ規定スル所ナク「ジョンソン」案ニハ「米國ニ於テ外國人タル親 (parents) ヨリ生レタル子ハ帰化權ヲ有セス云々」トアリテ「從前」若ハ「今後」等ノ文字ヲ用キ居ラス
右桑港總領事ニ電シ「ホノルル」ヲ含ム沿岸各領事ヘ電セシム

一六 十二月十三日

在米國植原大使ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

移民制限法案及ビ帰化不能外國人ノ子ノ国籍

ニ關スル憲法改正決議案ニ付國務長官ニ面会

注意喚起ノ件

第八二二号

(十二月十四日接受)

往電第八一四号ニ関シ

十二月十三日國務長官ニ面会未タ篤ト研究ノ暇無キモ一読シタル処最近上下兩院ニ提出サレタル移民制限法案中ニハ現行日米通商条約及紳士協約ニ関スル諒解ト相容レサル条項アルカ如シ右ハ既ニ長官ノ注意ニ上リタル儀ト思考スルカ如何ト問ヒタルニ該案ハ國務省ト何等相談ナシニ提出セラレタルモノナルカ目下同省係官ニ於テ研究中ナリト答ヘタルニ付本使ハ本件ニ付テハ何分トモ適當ノ注意ヲ客マレサランコトヲ希望スル旨ヲ述ヘ更ニ往電第八一九号ノ決議議案ニ言及シ長官ノ所見ヲ叩キタルニ該決議案ニ付テハ未タ何等知ル所ナシ何レ予メ研究スヘキモ憲法改正ノ如キハ大ニ時ヲ要スルコトナリト云ヒ余リ氣ニ掛ケサル様子ナリ在米各領事ヘ郵送ス

一七 十二月十四日 在米國埴原大使ヨリ
伊集院外務大臣宛

McKellar 議員ガ上院ニ提出セル外國人ノ帰

化ニ関スル法案ニ付報告ノ件

公第九五八号

(大正十三年一月二十三日接受)

今期議會ニ提出セラレタル帰化権制限ニ関ス

ル憲法改正決議案写送付ノ件

- 付屬書一 十二月六日上院ニ提出サレタル Jones 憲法改正決議案写
二 十二月五日下午院ニ提出サレタル Johnson 憲法改正決議案
三 右同 Raker 憲法改正決議案

公第九五九号

(大正十三年一月二十二日接受)

大正十二年十二月十四日

在米

特命全權大使 埴原 正直 (印)

外務大臣男爵 伊集院 彦吉殿

今期議會ニ提出セラレタル帰化権制限ニ関スル憲

法改正決議案写送付ノ件

往電第八一九号ヲ以テ及報告置タル上院議員 Jones 下院議員 Johnson 及同 Raker ヨリ各別ニ提出セラレタル本件決議案全文別添議會議事録抜書及印刷物ニシキ委細御承知相成度此段申進候也

本信写送付先「ホノルル」ヲ含ム沿岸各領事

(付屬書一)

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 一八

大正十二年十二月十四日

在米

特命全權大使 埴原 正直 (印)

外務大臣男爵 伊集院 彦吉殿

今期議會ニ提出セラレタル移民ニ関スル法案送付

ノ件

十二月六日上院ニ於テ「テネシー」州選出議員 McKellar ハ(一)凡テノ外國人ハ法規ニヨリ帰化スルニアラザレバ五年以上合衆國ニ居住スルコトヲ得ズ(二)既ニ五年以上居住シタルモノハ本法施行後二年以内ニ帰化スルヲ要シ(三)以上孰レノ場合ニ於テモ所定年限内ニ帰化セズ若クハ米國官憲ニヨリ帰化ヲ拒絕セラレタルモノハ直チニ本國ニ放逐スヘシトノ条項ヲ包ム法案ヲ提出シ直チニ教育並労働委員會ニ付託セラレ候右法案全文別添印刷物ノ通りニ有之委細別紙ニテ御承知相成度此段申進候也

本信写送付先「ホノルル」ヲ含ム沿岸各領事

註 添付ノ法案全文ヲ省略ス

一八 十二月十四日 在米國埴原大使ヨリ
伊集院外務大臣宛

十二月六日上院ニ提出サレタル Jones 憲法改正決議案写

甲号

(From the Congressional Record, December 6, 1923)

CITIZENSHIP OF CHILDREN OF FOREIGN-BORN PARENTS.

Mr. Jones of Washington submitted the following concurrent resolution (S. Con. Res. 1), which was referred to the Committee on the Judiciary:

Resolved by the Senate (the House of Representatives concurring), That the following article is hereby proposed to the several States as an amendment to the Constitution, which shall become valid to all intents and purposes as a part of the Constitution when ratified by the legislatures of three-fourths of the several States:

Article XIX.

SECTION 1. No child hereafter born in the United States of foreign parentage shall be a citizen or shall be eligible to citizenship in the United States unless both parents are eligible to become citizens of the

United States; and no person heretofore born in the United States or from the adoption of this article, be a citizen of the United States or be eligible to become such citizen unless both parents were citizens of the United States or eligible to become such citizens.

(牛廣輔II)

十一月五日付議ニ提出サレタル Johnson 憲法改正決議案ニ對シ

68th CONGRESS,

1st Session.

H. J. RES. 12

IN THE HOUSE OF REPRESENTATIVES.

December 5, 1923.

Mr. Johnson of Washington introduced the following joint resolution; which was referred to the Committee on the Judiciary and ordered to be printed.

JOINT RESOLUTION

Proposing an amendment to the Constitution of the United States.

IN THE HOUSE OF REPRESENTATIVES.

December 5, 1923.

Mr. Raker introduced the following joint resolution; which was referred to the Committee on the Judiciary and ordered to be printed.

JOINT RESOLUTION

Proposing an amendment to the Constitution of the United States.

Resolved by the Senate and House of Representatives of the United States of America in Congress assembled (two thirds of each House concurring therein), That the following article is proposed as an amendment to the Constitution of the United States, which shall be valid to all intents and purposes as a part of the Constitution when ratified by the legislatures of three-fourths of the several States:

"Article—.

"Section 1. No child hereafter born in the United

Resolved by the Senate and House of Representatives of the United States of America in Congress assembled (two-thirds of each House concurring therein), That the following article is proposed as an amendment to the Constitution of the United States, which shall be valid to all intents and purposes as part of the Constitution when ratified by the legislatures of three-fourths of the several States:

"Article—.

"Section 1. A person born in the United States, of alien parents who are not eligible to become citizens of the United States, shall not be eligible to citizenship and shall not be held and considered a citizen of the United States."

(牛廣輔III)

十一月五日付議ニ提出サレタル Raker 憲法改正決議案ニ對シ

68th CONGRESS,

1st Session.

H. J. RES. 17

States of foreign parentage shall be eligible to citizenship in the United States unless both parents are eligible to become citizens of the United States."

一九 十二月二十九日

在米國植原大使ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報)

ジョーンソン提出ノ移民制限法案ニ關スル下院
移民及ビ歸化委員会ノヒアリングノ模様報告

ノ件

第八五九号

(十二月三十日接受)

下院移民及歸化委員会ハ移民法案ニ關スル議會ヘノ報告作製準備トシテ十二月二十六日ヨリ public hearing ヲ開始暫ク引續キ開會ノ上十一月十日前後迄ニ報告書完成ノ予定ニテ進ミシツフル趣ノ処先ヅ以テ重ナル問題トナリ居ルハ往電第八一〇号ノ「ジョーンソン」案中「クォータ」ヨリ「パーセント」ニ引下グル点ニ在リテ關係団体ノ多数ハ寧ロ之ニ反対シ現行三「パーセント」ニ賛成意見ヲ有スル趣ニテ此点猶論議ヲ見ルベシトノコトナルガ二十九日ノ「ヒヤリング」ニ於テ華盛頓選出下院議員 Miller ヨリ現行支那人入国禁止法ヲ日本人ニモ押及ボスベシトノ意見ヲ陳述シ日

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 二〇 二一

米間通商關係ノ維持發達ハ吾人ノ希望スル所ナリ然ルニ好マシカラザル日本人（商人学生其他ニアラザル移民労働者）ノ入國ハ人の方面（脱）若クハ信仰ノ自由ヲ却テ困難ナラシムル結果トナルヲ以テ其入國ヲ禁ズルニ如カズト説明セリト云フ

桑港ニ転電シホノルルヲ含ム沿岸各領事ヘ暗送セシム

二〇 十二月三十一日 伊集院外務大臣ヨリ
在米國植原大使宛（電報）

移民委員会ノ構成及ビ審議ノ模様等報告方訓

電ノ件

第七一八号

移民法案及憲法改正決議案ノ付託セラレタル委員会ヲ構成スル委員ノ数、色別、審議ノ模様及其ノ結果ニ関スル予想並之カ対策ニ関スル貴見等隨時電報アリタシ尚移民委員会ノ構成等ニ付テハ十一月二十九日ノ「ニューヨーク・タイムズ」ノ記事ニ依リ一応承知セルモ其後委員數ヲ増員セルヤ否ヤ併セテ電報アリタシ

二一 十二月三十一日 在米國植原大使ヨリ
伊集院外務大臣宛（電報）

選出共和党「ボラー」ナリ

以上各委員会ノ内下院移民及帰化委員会カ「パブリック、ヒヤリング」ヲ開始シタルコト及今日迄ノ模様大体往電第八五九号報告ノ通ナルカ其ノ他ハ未タ審議ヲ開始シ居ラス

2 外国人土地法關係

二二 一月十日 在シアトル斎藤領事ヨリ
内田外務大臣宛

本邦人ノワシントン州土地法違反訴訟事件ニ

關スル件

機密公第四号 （一月三十日接受）

大正十二年一月十日

在シアトル

領事 斎藤 博（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

華州土地法違反訴訟事件ニ關スル件

本件ニ関スル大正十一年十二月十四日付通移機密第一三三号^{（註1）}

貴信敬承大正十年三月華盛頓州外国人土地法會議會通過

（六月九日同法実施）以来本邦人ニシテ外国人ノ土地所有

一 米國ニ於ケル日本人移民排斥問題 二二

一六

下院移民及帰化委員会上院移民委員会等ノ委員会ノ構成及ビ審議ノ模様報告ノ件

第八六八号 （大正十三年一月二日接受）

貴電第七一八号ニ関シ

一、下院移民及帰化委員会ハ委員長及委員合計十七名ニシテ内共和党十名民主党七名ナリ委員長ハ華盛頓州選出共和党 Albert Johnson ナリ

二、上院移民委員会ハ委員長及委員合計十一名内六名共和党五名民主党ナリ委員長ハ「ロードアイランド」州選出共和党 le Baron Bradford Colt ナリ

三、憲法改正決議案ノ付託セラレ居ル上院法制委員会ハ委員長ヲ加ヘ合計十六名ニシテ内共和党九名民主党七名ナリ委員長ハ「コンネチカット」州選出共和党「ブランデギー」ナリ下院法制委員会ハ委員長ヲ含メ二十一名内共和党十二名民主党九名委員長ハ「ペンシルバニア」州選出共和党 George S. Graham ナリ
四、十二月十四日付信公第九五八号「マッケラー」法案ノ付託セラレ居ル上院教育及労働委員会ハ委員長ヲ含メ十一名ニシテ共和党六名民主党五名委員長ハ「アイダホ」州

ニ関スル当州憲法乃至其他ノ法律違反トシテ起訴セラレタル訴訟事件ニ関シテハ其數五件ニ上リ等シク土地沒收訴訟ニシテ当州カ原告トシテ告訴シ一モ未ダ正式裁判ヲ得ルニ到ラズ其論争点モ大体同巧異曲ナルヲ以テ左ニ之ヲ一括シテ要領及御報告候条御閱悉相成度尚詳細ニ亘リテハ米國西北部連絡日本人會ニ於テ作製シタル華盛頓州ニ於ケル日本人關係土地沒收訴訟事件梗概添付御參考ノ為供貴覽候^{（註2）}

敬具

註1 日本外交文書大正十一年第一冊五〇文書（六五頁）參照
2 添付書類ハ省略ス

華盛頓州日本人土地沒收訴訟事件

（一）事件起訴裁判所及起訴年月

1 華盛頓州对喰田慶助事件大正十年四月（フランクリン郡上等裁判所）

2 对葛川彰三夫妻及ヴァン・シー・グリフィン夫妻（キング郡上等裁判所）

大正十年七月

3 对平林夫妻及ホワイ・リヴァー・ガーデン